

平成 10 (1998) 年度第 2 回常任幹事会議事録

日本光学会 (応用物理学会)

日 時: 平成 10 (1998) 年 11 月 13 日 (金)

14:00~17:00

場 所: 応用物理学会会議室

出席者: 山口幹事長以下計 18 名

議 事:

1. 報告事項

1-1. 「光学」編集委員会報告

- ・「講義」シリーズの内容 24 回 (2 年間) 分を企画中である。
- ・第 28 巻第 6, 7 号は企画が決定, 8, 9 号は第 2 次構想案の段階, 10, 11 号は第 1 次構想案の段階, 12 号, 29 巻 1 号は号担当が決定した段階である。
- ・29 巻 4 号は展望号であるが, 執筆者がほぼ決定した。
- ・投稿勧誘を e-mail にて行っているが, その際に投稿から掲載までほぼ 5 か月を切った旨, アナウンスしている。
- ・掲載内容の必要性から, 28 巻 3 号では 1~1.5 ページほどカラー写真のページを設けることになった。また 5 号においてはカラー掲載が必須であるが, カラーに関しては著者のホームページ上で掲載するという手法を用いることになった。したがってカラー部分の著作権に関しては, 「光学」誌ではなく著者に属することになる。
- ・「光学」誌のカラー化に関しては, 費用問題も含め, 編集委員会にて今後議論を進める。

1-2. 「OPTICAL REVIEW」報告

- ・Vol. 5 No. 6 が 12 月中旬に発刊される予定である。
- ・今年の掲載論文数は, 平均 12 編で推移した。
- ・今年投稿数が増加した分野は, 「Information Optics」と「Optical Systems and Technologies」である。
- ・会員投稿率が 78% を占めており, 会員外の投稿数増を目指している。
- ・海外からの投稿は, 今年は 8 件であった。近い将来, 10 件以上 (目標 20 件) となるよう, 努力していく。
- ・ホームページの海外アクセス数が約 40% を占めており, 関心が示されていると判断している。
- ・Journal Citation Reports の Journal Rankings の光学分野で 32 番目に OR がランキングされたことが紹介された。

1-3. Optics Japan '98 結果報告

- ・講演総数は 183 件 (招待講演 20 件, 一般講演 163 件), 参加者は 411 名 (内訳は会員 258 名, 非会員 40 名, 学生

会員 75 名, 非学生会員 38 名) であった。

- ・光技術調査委員会のメンバーを中心とした若手研究者から「OJ」の開催意義に関して問題提起されている。要約すると, 「応物との差, OJ の独自性に関する疑問, 「OJ」のために使う時間と費用に見合うメリットを求めている」等である。
- ・本件に関して, 各幹事から以下の意見が出された。
 - ① 日本の光学が今後どうあるべきかという議論と「OJ」の意義は別々の問題とするべきである。
 - ② 「OJ」のような小規模で光の啓蒙を目的としたシンポジウムは有意義である。
 - ③ その一方で, 参加者 411 名は確かに実力以上ではないか。
 - ④ 単に人数を集めることなく, クオリティを追求してはどうか。
 - ⑤ 確かに応物との区別が難しくなっているという認識もある。
 - ⑥ また, レビューがないため, 応物と同内容の発表がされていることも事実であり, 今後厳格に禁止していく。
- ・本件は, 今後も継続的に議論していくことになった。

1-4. 第 25 回冬季講習会準備状況

- ・1999 年 1 月 12 日, 13 日の 2 日間, 東大生産技術研究所にて開催される。
- ・テーマは「光工学における多波長活用技術—光源からシステムまで—」であり, プログラム, 講師が決定しており, 広報活動を進めている。
- ・今回から, 予稿集に広告を掲載する。

1-5. ICOSN '99 準備状況報告

- ・締切を当初の 9 月末から 11 月 4 日まで繰り下げた結果, 9 月末の時点では 43 件であったが, 最終的には 154 件を受け付けており, 全件受理する方向である。
- ・11 月下旬にプログラム, 実行委員会が開催される。

1-6. 第 24 回光学シンポジウム準備状況

- ・11 月 25 日に第 1 回実行委員会が開催される予定である。
- ・来年は同時期に ICOSN '99 が開催されるため開催時期が懸案であり, 今後実行委員会にて検討する。

1-7. 光学論文賞

- ・光学論文賞に自薦, 他薦を合わせて 9 件の応募があり, 現在審査中である。

1-8. 平成 11 年度光学会幹事候補

- ・来年度光学会幹事候補が決定し、選挙へ移行した。

1-9. 協賛

- ・協賛依頼が 2 件あり、承認された。

1-10. 国際協力

- ・OSA/SPIE/OSJ 名簿の配布が完了した。内訳は本 700 部 (残 17 部), CD-ROM 300 部 (残 71 部) であり, 残りは応物に保管されている。

1-11. 電子化準備委員会

- ・英文誌 (OR を含む 4 誌) の電子化に向けての 2 つの委員会 (将来問題を議論する委員会とテクニカルな内容の委員会) が発足した。

1-12. 「Optical Review」会員登録状況報告

- ・機関購読制度の廃止に伴い, 各機関に特別会員への移行登録を文書にてお願いしているが, まだ未回答の機関が多い。
- ・未回答機関へは, 直接電話にて確認中である。

2. 審議事項

2-1. 日本光学会名簿発行に関して

- ・前回発行から約 8 年経過しているため, 発行する方向で準備を開始する。
- ・はがき, e-mail でデータを取り込み, 今後も活用できるようにデータベースを作る。
- ・応物の名簿システムを参考に準備を進める。

2-2. 来年度サマーセミナー開催に関して

- ・来年度サマーセミナーの準備を開始する時期に来ており, 引き続き開催するかどうかの議論が行われた結果, 準備を進めることに決定した。

—以上—

第 24 回光学シンポジウム講演募集

「光学系および光学素子の設計, 製作, 評価を中心として」下記の要領で講演を募集いたします。多数の皆様のお応募をお待ちしております。詳細は本誌第 28 巻第 1 号または日本光学会ホームページ (<http://wwwbase.nacsis.ac.jp/osj-ap/index.html>) をご覧ください。

日 時：1999 年 7 月 1 日 (木), 2 日 (金)

9:30~17:00

場 所：東京大学生産技術研究所 (東京都港区六本木 7-22-1)

主 催：日本光学会 (応用物理学会)

講演方法および時間：

- a) 口頭講演：講演時間 20 分, 質疑応答 5 分, OHP またはビデオプロジェクター使用

- b) ポスターセッション：ショートプレゼンテーション 5 分 (質疑応答なし, OHP 使用), 説明時間 120 分 (予定)

口頭講演とポスターのどちらを希望するかは応募時に明記していただきますが, プログラム編成上の都合により, 変更していただく場合があります。

応募資格：日本光学会 (入会予定を含みます), 応用物理学会および協賛団体会員

応募方法：講演題目, 氏名, 所属, 連絡先 (住所, 電話番号, Fax 番号, E-mail アドレス), 口頭講演/ポスターおよび OHP/ビデオプロジェクターの別を明記し, 200 字以内のアブストラクトを下記宛に, 郵送, Fax または電子メールにてお送りください。受領したことを折り返しお知らせします。講演プログラムは 1999 年 3 月 28 日 (日), アブストラクトは 1999 年 5 月 10 日 (月) に公表する予定です。

応募締切：1999 年 3 月 11 日 (木) 必着

予稿の提出：採用した講演については, オフセット原稿または PDF 形式の電子ファイル (図・表を含めて所定の用紙で 2 枚あるいは 4 枚) を提出していただきます。予稿の締切は 1999 年 5 月 10 日 (月) です。

応募先・問合せ先：(株)リコー EP 開発センター
須原 浩之
〒143-8555 東京都大田区中馬込 1-3-6
電話 03-5742-5821 Fax 03-3777-8178
E-mail: suhara-h@nts.ricoh.co.jp

第 71 回微小光学研究会

日 時：1999 年 3 月 4 日 (木) 10:00~17:10

場 所：(株)フジクラ 本社大会議室

東京都江東区木場 1-4-1 (地下鉄東西線木場駅下車出口 4 より徒歩 5 分)

テーマ：超精密加工技術が支える回折光学デバイスの新展開

演 題：

- 1) 21 世紀を拓く回折光
小館香椎子 (日本女子大)
- 2) Wavelength division multiplexers and routers using diffraction gratings
J. P. Laude (ISA Jobin Yvon HORIBA group)
- 3) Arrayed-waveguide grating multiplexers for WDM systems
岡本勝就 (NTT)
- 4) 回折格子周期精密制御による異波長 DFB レーザー一括

作製

山口昌幸 (NEC)

5) 利得等化用光ファイバグレーティング

島 研介・和田 朗 (フジクラ)

6) ルーリングエンジンによる回折格子製作技術

原田達男 (東京都立大)

7) ホログラフィック露光法による回折格子の製作

原田善寿・佐藤 誠・佐野一雄 (島津製作所)

8) 電子ビーム描画による回折光学素子作製技術

塩野照弘 (松下電器)

9) 回折光学素子を用いた DVD 用光ヘッド

片山龍一 (NEC)

10) レーザーホログラフィックスケール

田宮 英明・谷口佳代子 (ソニープレジジョンテクノロジー)

11) ガラス薄膜レーザ微細加工

西井準治 (大阪工業研究所)

12) イオン交換ガラスの光微細加工

常友啓司 (日本板硝子)

(研究会のプログラムは微小光学研究グループのホームページ <http://www.din.or.jp/~microopt/>でもご覧いただけます。)

参加費： 一般 4,000 円, 学生 1,000 円 (資料代を含む)
当日ご持参ください。

参加申込み： 不要 (直接会場にお越しください)

問合せ先： (株)フジクラ 光電子技術研究所光通信研究部
日高啓視

電話 043-484-3942 Fax 043-484-3988

E-mail: hidaka@lab.fujikura.co.jp

3次元画像コンファレンス '99

期 日： 1999年6月30日(水), 7月1日(木)

場 所： 工学院大学新宿校舎大講堂

主 催： 3次元画像コンファレンス '99 実行委員会 (担当：映像情報メディア学会・映像表現研究委員会/日本光学学会ホログラフィックディスプレイ研究会協賛)

参加費： 協賛学会・研究会会員 10,000 円, 非会員 13,000 円, 学生 5,000 円

募集論文の性格： 論文として未発表のものに限ります。
ただし、口頭や研究速報として発表したものは差しかえありません。

募集論文の内容： 3次元画像に関する諸技術・応用：① 3次元画像入力・表示等に関する画像エレクトロニクス技術, ② 視覚・認識・理解・生成・符号化・映像表示等に関する画像情報処理技術, ③ 放送・通信・医療・産業・教育などの分野への応用と結果 (応用については、技術的な内容である必要はありません。)

講演申込： 題目・著者名・図表などを含めて A4 横書 1 枚程度の内容概要と、必要事項を記入した講演申込書 (コピー可) を下記送付先まで郵便または Fax にてお送りください。なお、電子的な申込方法については下記の URL (ホームページ) において紹介しておりますので、そちらをご覧ください。

講演申込締切： 1999年2月27日(土) 必着

論文集原稿： 採択論文については、1999年4月30日までカメラレディ原稿とフロッピーによる原稿を提出していただきます。

優秀論文の表彰： 発表論文の中から優秀な論文について論文賞を贈呈します。

送付先 (問合せ先)： (株)精機通信社気付「3次元画像コンファレンス '99 実行委員会」

電話 03-3367-0571 Fax 03-3368-1519

<http://www.ecs.cst.nihon-u.ac.jp/3dconf/>

理化学研究所脳科学総合研究センターサマースクール

理化学研究所脳科学総合研究センターでは、神経科学に関心のある大学院生を主な対象として、サマースクールを開校します。コースは、7~9月のうち約2か月間を脳科学総合研究センターの各研究室に滞在し、研究を実体験するコース (Plan A) と国内外から招いた優れた研究者による2週間の短期集中講義のコース (Plan B) があります。1999年の募集を行っていますので、関心のある方は下記のホームページをご覧ください。

理研脳科学総合研究所サマースクールホームページ

<http://www.brain.riken.go.jp/summer/bsi-summer.html>

訂 正

「光学」第27巻第11号692ページ右段の誤記につき、再度訂正いたします。

土屋洋一氏の所属

誤： 三菱電機・ハイパーメディア研

正： 三洋電機・ハイパーメディア研

日本光学会 news の掲載申込み先：

〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町 1-33 千葉大学工学部情報画像工学科 羽石秀昭

電話 043-290-3263 Fax 043-290-3262 E-mail: haneishi@ics.tj.chiba-u.ac.jp

なお、掲載申込みは原則として発行日(10日)から2か月前の15日まで、開催日が1~10日の場合は、開催日の3か月前の15日までをお願いします。

会員拡大キャンペーンへの協力をお願い

日本光学会は、Optics Japan の開催、新しい国際学術誌「OPTICAL REVIEW」の刊行など、近年ますます活発な事業活動を行っております。光関連分野がさらに拡大しつつある現在、日本光学会の一層の発展を目指して、会員拡大キャンペーンを実施中です。皆様のお近くで、光関連分野で仕事をされている研究者、技術者、そして学生の方々に、日本光学会への入会を、是非おすすめくださいますようお願いいたします。入会のしおり(申込み用紙付)は下記へ請求してください。

申込み先：社団法人 応用物理学会分科会 日本光学会

〒102 東京都千代田区九段北 1-12-3 九段北ビル 5階

電話 03-3238-1043 Fax 03-3221-6245

E-mail: jsapdiv@mb.infoweb.or.jp

日本光学会平成10年度幹事(*常任幹事)

幹事長：	山口 一郎*(理研)	
副幹事長：	武田 光夫*(電通大)	
庶務幹事：	小方 康司*(オリンパス)	吉川 浩*(日本大)
	栗田 裕之*(日本KLA)	羽石 秀昭*(千葉大)
	山崎 敬之*(コニカ)	
会計幹事：	山本 昌邦*(キャノン)	栗木 一郎*(東京工業大)
『光学』編集幹事：	伊東 一良*(大阪大)	志村 努(東京大)
	伊藤 雅英(筑波大)	菊田 久雄(大阪府立大)
『OPTICAL REVIEW』編集幹事：	朝倉 利光*(北海学園大)	
国際協力幹事：	吉澤 徹*(東京農工大)	佐藤 平八*(防衛大)
	黒川 隆志(東京農工大)	小椋 行夫*(日本電気)
将来問題担当幹事：	久保田重夫*(ソニー)	河田 聡*(大阪大)
前幹事長：	横田 英嗣(東海大)	
企画・事業担当幹事：	西田 信夫(徳島大)	石川 和枝(上智大)
	玄間 隆志*(ニコン)	須原 浩之*(リコー)
	立野 公男*(日立)	松原 浩司*(電総研)
	浅井 和弘(東北工業大)	北島 巖(福井大)
	伊藤 博(トヨタ)	北川 洋一(兵庫工試)
	今井 洋(九州工業大)	